

我が党は、平成22年度決算審査にあたり、国難とも言える未曾有の大震災と経済危機の中、本区の災害に強いまちづくりや中小零細企業への支援、区民を守る生活者優先の施策の実施、更には、区民が快適に住み続けられるかなどの視点、また、予算執行にあたっては、最小の軽費で最大の行政成果を上げたかを審査すると共に、いくつかの提案をしてきました。

その結果、本決算内容について、区議会公明党として妥当なものとの結論に至り、平成22年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定致しました。

#### ●公明党の総括意見

決算特別委員会(10月)



新年度 予算要望(12月) ●多田正見江戸川区長に、平成24年度予算へ104項目の要望を行う中道議員(左から5人目)ら区議会公明党。【平成23年12月6日】

#### 区内の防災施設を視察(9月)

●9月13日、災害対策・街づくり推進特別委員会では、給水所をはじめ区内の防災施設を視察しました。



#### 外環道を委員会視察(12月)

●災害対策・街づくり推進特別委員会では、12月21日、外環道(千葉県区間)の現状を視察。首都国道事務所のご説明を頂き、矢切函渠工事・北総線委託トンネル工事・小塚山周辺工事・国分堀割試験工事などを拝見。首都圏の交通渋滞を無くすため三環状の早期整備が待ちます。



# あの道、この道、安心の街へ!



●「通学路が危険!」とのお声を大杉二丁目地域の方から寄せられました。歩道に車が乗り上げる違法駐車が絶えないため、特に登下校時にはたいへん危険でした。そのため、車を規制する手立てを求めていました。

区土木部に相談したところ、この程、老朽化した歩道の改修と共に新しいガードパイプが設置されました。これにより、安全な通学路が確保され、地元の方々や保護者の皆さんからもたいへん喜ばれました。今後とも、声をカタチにするため全力で取り組みます。



●都立篠崎公園内に、空間放射線量の連続測定ができるモニタリングポストが設置されました。私たち区議会公明党は、見えない放射線の不安解消に向け、多田区長に対し、独自の測定やモニタリングポストの区内設置を要望していました。

更には、7月19日、石原東京都知事に対し、「江戸川区内設置の要望書」を提出し、遂に11月、モニタリングポスト設置が実現しました。地上1・7mの位置に設置され、1分刻み24時間体制で空間放射線量の測定を実施します。



●大杉1丁目20付近の区道は、途中から幅が狭くなり、歩行者や自転車との接触の危険がありました。土木部に相談したところ、早速に注意看板が設置されました。

●本一色3丁目16付近では、幹線道路の抜け道に利用されるため、交差点等が危険なため、対策を要望されました。この程、区土木部により、注意看板が設置されました。